

地域別意見交換会(豊川南小学校区班)集約意見、及び、回答一覧表

※回答分類は以下の通りとする

①議会として調査・回答するもの ②議会として参考意見とするもの ③市に回答を求めるもの ④市に意見を伝えるもの

番号	テーマ	ご意見	回答分類	回答(議会・市)
1	松出公園の違法駐車について	松出公園の違法駐車(ほぼ毎日、通学時間帯も)を何とかしてほしい。PTA保護者からも声が多い。	③	現在、同公園横に表示しているグリーンベルトを拡幅し、車両がグリーンベルトを跨いで駐車しないようラバーポールを設置する手法について、道路施設整備の優先順位づけ基準に基づき、設置に向けて検討を進めます。(一般質問での答弁)
2	ダム、マンホールカードを活用した地域活性化について	ダム、マンホールカードの発行をしてほしい。	③	箕面市では、マンホールの蓋をあしらった「マンホールカード」を平成29年12月9日(土)から、箕面交通・観光案内所(箕面駅前内)で配布する事になりました。全国でこれまでに、194自治体で227種類のカードが発行されており、12月からは、64自治体、66種類が追加される予定で、箕面市のマンホールカードも新たに追加されます。箕面市のカードに掲載されているマンホール蓋には、箕面大滝とイロハモミジが鮮やかにデザインされています。ダムカードについては、発行していません。
3	地域の環境について	昔は、蛍が多かったが、現在では少なくなり、子ども達も遠くまで行かないといけな残念です。	③	蛍については、箕面公園が天然の蛍の生息する貴重なエリアとして、広く知られています。公園内には関西の都市部では、貴重な自然発生のゲンジボタルが生息し、例年6月中旬から下旬にかけて、夜の滝道を舞う幻想的な蛍の光を楽しむ事ができます。また、下流域の箕面川や勝尾寺川等、市内の河川沿いで現在でも生息している場所があります。
4	学校のグラウンド整備について	第四中学校の水はけが非常に悪いです。他の中学校と比較して特に悪いのか調べてください。	③	第四中学校グラウンドの水はけが他の中学校と比べて悪いことは課題として認識しているところです。体育祭が雨天予備日に実施できなかったことも踏まえ、土の補充や、排水溝の補修、増設など改善策を検討している状況で、今後学校ともよく相談しながら改善に努めていきたいと考えています。
5	意見交換会について	意見交換会の回数を増やしてもらいたい。意見交換会だけでなく議員方の日常活動として行っていただけたら。テーマや問題をどのように実現するのかを具体的に示していただきたいと思います。	①	現在、議会では分野別、地域別の意見交換会を行っています。分野別では各種団体と所管の常任委員会で行い、地域別では年3か所の小学校区を対象に実施しています。本来の議会活動との兼ね合いもありますが、ご要望はしっかり受け止め検討して参ります。支援者や居住地区を中心とした各議員の日常活動はとても大切なものであり、各議員、自覚を持って取り組んでいきたいと存じます。各テーマや問題については、本会議の一般質問や常任委員会審査で、その実現に向けて努力して参ります。
6	手話サークルの拡大について	手話を広める取り組みについて聞きたい。	③	手話による日常会話の習得を目的に、手話奉仕員養成講座を毎年6月～3月(全35回)実施しています。また、本市登録手話通訳者の手話通訳技術の研鑽及び人材確保を目的に、箕面市手話通訳技能研修を毎年9月～11月(全6回)実施しています。その他に市内小中学校の福祉学習、市主催行事の情報保障、手話サークル活動の場の提供を行っています。
7	独居高齢者の増加について	敬老会の対象年齢が上がっている経過について聞きたい。	③	敬老会の対象年齢については、平成28年度から、対象年齢を70歳から1歳ずつ引き上げ、平成32年度からは、75歳以上が対象となっています。これは、もともと70歳代前半の参加者が少なく、平均寿命と健康寿命の延伸と相まって「敬老」や「老人」に関する高齢者の意識も変化していることや、高齢者の増加に伴う地区福祉会の負担増大等の課題をふまえ、箕面市社会福祉協議会における検討の結果、変更することとしたものです。
		独居高齢者について、見守りの機会が減っているように思える。市の対応を聞きたい。	③	独居高齢者の見守りについては、市として、概ね65歳以上のかたを対象に自宅への緊急通報機器の設置・利用を補助しているほか、避難行動要支援者名簿等を活用し、民生委員・児童委員等の協力を得て、日常生活に何らかの不安や課題を抱えておられるかたを日ごろから把握するよう努めています。このほか、社会福祉協議会では、地区福祉会によるひとり暮らし高齢者等への「一声訪問」として、月1回の訪問による見守りと声かけ活動を実施し、民生委員・児童委員や自治会等と連携した地域での見守りを行っています。
		社協のおせち料理の補助がなくなった経過を聞きたい。	③	財源である歳末たすけあい募金配分金が減少したことと、年末年始に開いている商店等も増え、食の確保としての意義の低下や対象となる後期高齢者が今後、急激に増加するため、当該事業に必要な財源の確保が難しくなりました。上記の理由により、平成29年度より社協からの補助をなくし、ミニおせちへ変更(利用者負担は変更なし(3,000円))本来目的の年末の見守り、地域でのつながりづくりの意味合いを強調する事業として継続することとなっています。
8	タッキー816の受信状況について	ラジオの受信状況が悪い地域がある。過去配布されたタッキー816専用受信機では聞けたといった声もあるが本当なのか。	①	難聴地域が存在することは把握していますが、改善には電波塔を建設する必要があり多額の費用を要するため困難です。また、受信機によって受信状況が変わる事はありません。現状はインターネットラジオ等の媒体を通し、難聴地域にも情報提供しています。
9	箕面市の人口、課題について	箕面市の人口は増えているのか。	①	平成12年には124,898人、平成27年には、133,411人と子育て世帯を中心に増加しており、今後の人口推計においても微増傾向です。
		箕面市の一番の課題は。	①	子育て、学校教育、健康長寿、北急延伸などのまちづくりの実現と、その財源確保策に取り組んでいきます。
10	除染土の受け入れについて	福島県の除染土を全国の公共工事で再利用していくとの新聞報道があった。北急延伸工事で使用されていないか。箕面市は東日本大震災のガレキを受け入れしていないか。箕面市で除染土を受け入れないでほしい。	③	北急延伸工事において、震災ガレキや除染土の受け入れは行っておりません。また、これに関し箕面市が国から何なんらかの要請を受けたことはありません。ちなみに、延伸工事の現場で使用している黒色の土嚢袋には、現場で発生した土や碎石が入っており、仮設土留めとして置いているものです。(一般質問での答弁)
11	市民からの請願の数と可決率について	市民からの請願数と請願に対する賛成率はどのような状況か。	①	平成24、25年は提出なしでした。平成26年は5件議案提出され、うち採択は2件。採択の比率は40%。平成27年は1件議案提出がありましたが採択なし。平成28年は1件議案提出でそのまま採択され、採択比率は100%。過去5年間では合計7件の市民提出議案のうち採択が3件で、採択の比率は43%です。
12	議員提出提案と市長提案の可決の比率について	議会への提出議案数は議員提出と市長提出とではどちらが多いのか。市長派の議員が多いと市長提出議案はすべて賛成になるのか。	①	過去5年間の議員提出議案数は100件でうち可決が92件で可決の比率は92%。市長提出議案は651件で可決の比率は100%で、議会への提出議案のほとんどが市長提出議案です。市長は予算編成権を持っていますが、議会には予算編成権はありません。市長提出議案についても、しっかりと議論したうえで賛成反対の態度表明をして、案件によっては修正することもあるので、すべて賛成することにはなりません。
13	福祉施設の災害時の避難について	避難勧告が出された場合に避難のタイミングや移動をどのようにしたらよいのか。	③	災害種別、施設の立地条件、建物強度、ハザードエリアの状況により対応が異なりますが、まずは早めの避難準備を行うよう心がけてください。有事の際、疑問があれば災害対策本部に連絡してください。
14	オレンジゆずるバスの運行本数について	オレンジゆずるバスは免許書返納も進んでいる状況の中、必要とされている。東西間の本数が少ない。増便を希望する。	③	オレンジゆずるバスは、多くの市民団体や専門家の方々が参画された協議会と分科会において、1年をかけて議論いただき、路線や便数などの運行計画と評価基準を策定し、平成22年度から実証運行を開始しました。実証運行では利便性の追求だけでなく、採算性や効率性を含め毎年評価見直しを行い、市民ニーズに合致した持続可能な運行内容に見直した上で、平日は平成25年度から休日は平成28年度から本格運行しました。北急延伸に伴うバス路線の再編につきましては、今後の計画策定の中で、路線バスに加えてオレンジゆずるバスの運行ルート等についても検討を進めていきます。

番号	テーマ	ご意見	回答分類	回答(議会・市)
15	マイナンバーについて	市の書類に記入欄があるが、安易に書かされているように思い、不安である。書かなければいけないのか調べてほしい。	③	市に提出する申請書等でマイナンバーの記入欄があるものについては「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)の第9条(利用範囲)に基づき、規定されている事務に限られており、必要以上に収集しているものではありません。マイナンバーの記載については、個別の事務を規定する法令等で規定されています。例えば、要介護認定の申請については、介護保険法規則第35条に申請に必要な事項として個人番号(マイナンバー)が規定されています。
16	自衛隊への勧誘について	高校3年生の息子に自衛隊から勧誘の郵便物が届いた。同級生は来ていない。個人情報ばかりと管理されていると思うが選別されている気がして気持ち悪い。	③	自衛隊大阪地方協力本部長からの名簿提出依頼文には「法令に基づき適正に管理します」との記載があることから、本市としては適正に管理されているものと認識しています。送付の選別につきましては、自衛隊の範疇のため本市には分かりかねます。
17	子育て世代のコミュニティ参加について	子育て世代にもっとコミュニティ参加をしてほしい。	③	子育て世代をターゲットにした事業を展開している自治会やコミュニティセンターが数多くあります。まずは、それぞれの地域において「顔の見える関係づくり」から始めることが重要という考えからです。市でも、このような事業を実施する自治会を支援するため、平成28年度から市民活動センター主管「夢の実支援金」に「自治会枠」を設け、広く地域住民を巻き込んだ事業に対して、2万円の支援金を5団体に交付しています。この支援金を活用して子育て世代や子ども対象事業を実施する自治会も増えてきています。また、小学校区のコミュニティセンターにおいては、市の委託事業として「コミセンまつり」を実施しており、親子で参加しやすい事業、三世代がつどえ、交流できる事業を行っております。市では、このような子育て世代をターゲットにした事業を支援するとともに、自治会ニュースやもみじだより等を通じて、今後も広く市民へアピールし、世代つながり、持続可能な地域コミュニティづくりを推進します。
18	小野原豊中線、小野原西地区の道路整備について	小野原豊中線の一部車道において数か所アスファルトが盛り上がり通行しづらい。また、小野原西地区の道路において数か所アスファルトに穴あきがある。	③	小野原西六丁目交差点から小野原西五丁目バス停間の車道部については、区画整理で高盛り土施行のあった箇所での影響も考えられます。今後の対応としては、路面状況の経過観察を行う中、必要に応じて舗装の打ち替え等を実施していきます。また、小野原西地区の道路については、陥没(穴あき)が発見された場合、その原因を調査するとともに、適宜修繕していきます。
19	自転車マナーについて	旧西国街道において自転車通学をしている中学生のマナーが悪い。	③	教育委員会より当該中学校長へ自転車の安全運転とマナーの向上を生徒へ促すよう指導しました。
20	校区編成について	自転車通学をしなくて済む校区編成をしてほしい。	③	現在、船場地区への学校建設を契機として、地理的に校区変更が難しい止々呂美地区を除く市全域で校区の見直しを進めています。見直しにあたっては、自転車通学の課題解消も念頭におきながら、通学区域審議会及び校区検討ワークショップの中で議論を深めて参ります。
21	小野原豊中線一部歩道の整備について	小野原豊中線の関西学院千里国際前の歩道がデコボコして通りづらい。	③	数年前に歩道の修繕を行い、一部舗装面がつぎはぎ状態になっていることが原因と考えられます。今後、舗装修繕工事実施の要否判定ルールに基づき修繕をしていきます。
22	側溝について	粟生新家一丁目13番地の側溝について、降水時に雨水が溢れる。	③	意見交換会で要望が出る以前から市の道路課及び水防・土砂災害対策推進室で把握しており、どのような対策を講じたらよいか検討中でした。検討結果として横断側溝を設置し、降水時に側溝の雨水が分断するようにします。早ければ平成30年度にも工事に掛かれる予定です。
23	船場のまちづくりについて	市立病院の建て替えについて、出来れば利便性世の良い(仮称)箕面船場駅周辺にしてほしい。	①	12月議会で船場東のCOM1号館跡地に移転建て替えが決定しました。
24	自治会について	自治会に入るメリットが感じられない。	③	自治会は、地域コミュニティーの要であり基盤となる組織ですので是非とも加入していただきますようお願いいたします。それぞれの自治会ではお祭りなどの地域交流や防災対策、地域清掃などを通じて地域コミュニティーの醸成に取り組んでいます。また、市では防犯カメラ、防犯灯設置の補助、電気代の9割補助を実施しており安心・安全な地域づくりを推進しています。今後も自治会加入の促進を図っていきます。
25	議員の活動について	議員は、もっと日常業務の中で市民の意見を聞く機会を作らなければならない。	②	ご指摘の通り、市民の皆さんの意見をどれだけ多く聞くかは議員にとって最も大切な任務であります。議員各個人は、自らの支援者、居住地域、交流団体などから日常的に意見収集をしていますが、それだけでなく、議会という一つの機能として、幅広く市民の皆さんの意見を聴取するために、この様な地域別意見交換会の場をもうけたものです。議員としても、今後、更なる市民意見の聴取に努めてまいります。
26	議会機能について	二元代表制の下、議会としての機能が働いているのか疑問である。	②	二元代表制にある地方議会の二大任務は、チェック機能と政策提案機能です。執行部が提案した条例や予算は、最終的に議会で議決されますが、それまでに、どれだけ内容がチェックされているのか。また、市民の皆さんからお聞きした意見を咀嚼し、学習を重ねた上で政策提案されているのか、そのことが常に問われています。情報提供や情報開示に努め、自己研鑽を重ね、市民の皆さんの期待に沿えるよう努めてまいります。
27	船場の高齢者施設について	船場に高齢者施設を増やしてほしい。	④	船場西、東周辺では市立多世代交流センターを核として、デイサービスセンターや特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅など14ヶ所が存在しており、一定程度充足している状況だと考えます。また、高齢化の進展に伴い今後も増加することが見込まれます。なお、デイサービス等では利用者送迎が実施されていることから、お住まいの近くに無い施設でも利用できます。具体的なご利用希望がある場合は、地域包括支援センターなどにご相談いただければご案内します。
28	人権について	子どもから高齢者まで人権を侵害された際に対応してくれる部署を作ってほしい。	④	人権相談の窓口です。人権施策課Tel 724-6720・人権、就労に関するご相談は「らいとびあ21」Tel 722-7400・「ヒューマンプラザ」Tel 721-4800詳しくは、もみじだより、箕面市民ガイドの各種相談窓口、ホームページでも案内をしております。また、大阪府の人権情報ガイド「ゆめにてなにわ」でも窓口の案内をしています。
29	通学区校区編成について	通学距離だけでは割り切れないと考えるが、これからの対応を教えてください。	③	船場地区の児童に係る長距離通学の負担軽減及び通学路の安全確保に加え、今後も本市の児童数は増加傾向にあることから、船場地区に小学校が必要と考え、検討を進めてきました。建設候補地を検討した結果、良好な教育環境を実現できる「箕面市立病院」跡地が最適であると判断し、関係者との調整を進めています。船場地区への学校新設を機に、市全域で校区の見直しを行います。その際、通学の安全性確保のため、小学校から半径1km圏内を目安に校区を設定することのほか、「学校の過密さ加減」を各校なるべく均等にすることをめざして校区の見直しを行います。具体的な校区の線引きや考慮すべき地域課題については、校区検討ワークショップにおいて地域のご意見を聴きながら十分に議論していきます。